

## 第5章

# より専門的な資料を 探すために

この章で紹介するインターネット上のツールは主に図書館ホームページの下記からアクセスできます。



## 5-1 より専門的な資料とは

研究を進めていくに従って、3～4章で説明してきたような図書や雑誌だけではなく、より専門的な資料が必要になってくる場合が出てきます。

専門的な資料の多くは、通常の出版・流通経路を通らないため入手しづらい場合もありますが、最近ではインターネットで公開されている資料も多くなってきました。

この5章では、一部の専門的な資料を取り上げています。もっと詳しく知りたい場合や、その他の専門的な資料の調査方法を知りたい場合、下記のサイトで調査方法を調べましょう。

◇「リサーチ・ナビ」 国立国会図書館 <https://rnavi.ndl.go.jp/jp/>  
主なテーマや、資料の種類から調査方法が検索できます。

## 5-2 博士学位論文を探す

博士学位論文とは、博士の学位を取得するための論文です。内容が詳しく信頼性の高い資料といえます。

### (1) 秋田大学の博士学位論文

秋田大学から授与された博士学位論文は下記にあります。

|                                                                                                                                                                         |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ◆ 鉱山学・工学資源学研究科：【中央図書館：2階E博士・科研費】                                                                                                                                        |
| ◆ 医学研究科：【医学図書館：1階コモンズ】                                                                                                                                                  |
| ◆ 「博士学位論文：内容の要旨及び審査結果の要旨」<br>秋田大学大学院鉱山学・工学資源学研究科 1997～2013 【中央図書館：書庫3階】<br>秋田大学大学院医学研究科 1980～2013 【中央図書館：書庫3階】【医学図書館：1階コモンズ】                                            |
| ◇ 「秋田大学学術情報リポジトリ(AIR)」 <a href="https://air.repo.nii.ac.jp/">https://air.repo.nii.ac.jp/</a><br>平成25年4月1日以降に授与された論文については、全ての「要旨及び審査結果」及び全文（公表することに問題がない論文）の閲覧及び印刷が可能です。 |

### (2) 秋田大学以外の博士学位論文

日本の博士学位論文の原本は、主に学位授与大学と国立国会図書館（関西館）で保存されています。

|                                                                                                                                                                                                                                    |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ◇ 「国立国会図書館オンライン」 国立国会図書館 <a href="https://ndlonline.ndl.go.jp/">https://ndlonline.ndl.go.jp/</a><br>国立国会図書館は1923年以降の博士論文を所蔵しており、国立国会図書館オンラインでは所蔵しているすべての国内学位論文を検索することができます。海外の論文も科学技術分野を中心に一部検索可能です。                               |
| ◇ 「CiNii Dissertations」 国立情報学研究所・国立国会図書館 <a href="https://ci.nii.ac.jp/d/">https://ci.nii.ac.jp/d/</a><br>国立国会図書館が所蔵する博士論文および各大学等の機関リポジトリに収録された博士論文の情報、約60万件を一括で検索することができます。タイトル、著者はもちろん大学名等からの検索が可能です。また、全文を参照できる博士論文も30万件以上あります。 |

◇「学術機関リポジトリデータベース IRDB」 国立情報学研究所 <https://irdb.nii.ac.jp/>

日本国内の学術機関リポジトリに登録されたコンテンツのメタデータを収集し、提供しています。平成 25 年 4 月 1 日以降に学位授与（博士）された論文については、1 年以内に全文を公表する規則が制定され、各大学等の機関リポジトリから公表されます。このサイトからのアクセスも可能です。

## (3) 海外の博士学位論文

◇「リサーチ・ナビ」 国立国会図書館 <https://rnavi.ndl.go.jp/jp/>

「海外博士論文」などのキーワードで検索すると、調べ方について案内があります。紙媒体の論文は国立国会図書館や大学図書館で所蔵しているものもあり、国立国会図書館オンラインや CiNii Books で検索できます。

## (4) 論文の入手方法

紙媒体の学位論文を複写などで入手しようとする場合、著作権法により、全体のページ数の半分しか複写できません。それ以上の複写を希望する場合は、著者からの許可が必要になります。詳細については、サービスデスクにお尋ねください。書店から購入が可能な場合もあります。

## 5-3 特許資料を探す

特許資料には、特許についての権利情報を記した「特許公報」と、その技術内容を記載した「公開特許公報」とがあります。特許の審査段階ごとに固有の番号が付与されるため、一つの特許が複数の番号をもっています。

特許資料は原則として、各国の特許庁がウェブ上で公開しています。検索の際には、出願人・発明者・発明の内容・特許番号などの情報が必要になります。

日本の特許は、次のウェブサイトで検索でき、本文も見ることができます。

## ◇「J-PlatPat」工業所有権情報・研修館

<https://www.j-platpat.inpit.go.jp/>

特許・実用新案、意匠、商標が、キーワード・出願人・発明者などから検索できます。商標も文字や読み方から検索できます。

外国の特許資料については、次のサイトで検索することができます。

## ◇「PATENTSCOPE」世界知的所有権機関(WIPO)

<https://patentscope2.wipo.int/search/ja/search.jsf>

国際特許を検索することができます。（日本語版あり）

◇「Espacenet」欧州特許庁 [https://worldwide.espacenet.com/?locale=jp\\_EP](https://worldwide.espacenet.com/?locale=jp_EP)

主要国の特許を横断的に検索することができます。（日本語版）

◇「諸外国の特許庁ホームページ」特許庁 <https://www.jpo.go.jp/toppage/links/others.html>

諸外国の特許庁のリンク集です。

## 5-4 科学研究費補助金の報告書を探す

### 5-4-1 文部科学省科学研究費補助金

文部科学省と日本学術振興会が交付する「科学研究費補助金（科研費）」は、人文科学から自然科学まですべての分野にわたる学術研究を発展させることを目的とした競争的研究資金です。これによってなされた研究の成果をまとめたものを科学研究費補助金研究成果報告書と呼びます。

平成 19(2007)年度までは研究成果報告書の作成が義務付けられていたため、紙媒体で成果報告書が出されており、主に研究代表者の所属機関と国立国会図書館で保存されています。

国立国会図書館の所蔵は「国立国会図書館オンライン」で検索することができます。

秋田大学の教職員が研究代表者の成果報告書は、OPAC で検索でき、まとめて配架されています。

◆手形地区：【中央図書館 2 階：E 博士・科研費】

◆本道地区：【医学図書館：1 階コモンズ】

平成 20(2008)年度以降については簡易な報告書だけが下記のデータベースに掲載されています。平成 19 年度以前の報告書についても、課題番号や研究代表者などの書誌情報が知りたい場合に利用できます。

◇「K A K E N：科学研究費助成事業データベース」国立情報学研究所 <https://kaken.nii.ac.jp/>  
研究課題と研究成果の概要（研究実績報告、研究成果概要）、研究者情報を収録したデータベースです。研究課題、代表者のほか研究分担者、キーワードなど全文から検索できます。

### 5-4-2 厚生労働科学研究成果

厚生労働省は、国民生活に深くかかわる保健医療・福祉・衛生等の分野の課題に関する研究活動に対して補助金を交付しています。これを「厚生労働科学研究費補助金」といいます。この補助金によってなされた研究成果をまとめた研究報告書等を調べたいときは、下記のウェブサイトが便利です。

◇「厚生労働科学研究成果データベース」厚生労働省 <https://mhlw-grants.niph.go.jp/>  
厚生労働科学研究費補助金等で実施した研究報告書の概要版および報告書本文を収録したデータベースです。平成 9 年度以降の研究課題の研究成果を検索でき、平成 10 年度以降のものは多くが本文を閲覧できます（平成 9 年度は抄録のみ収録）。

## 5-5 行政・法令関係資料を探す

政府などの行政が発行する白書などの各種報告書や、法令・判例などは、信頼性が高く、重要な情報を多く含んでいます。

## 5-5-1 行政資料

白書をはじめとする行政資料を調査するには、下記のウェブサイトが便利です。本学で所蔵している白書は OPAC で調べることができます。

◇「e-Gov ポータル」 <https://www.e-gov.go.jp/>

行政機関が発信する政策・施策に関する情報を検索・入手できます。行政機関の横断検索や法令検索、パブリック・コメントの募集案件や過去案件の検索などが可能です。行政組織だけでなく、独立行政法人機関の情報を探するときにも便利です。白書へのリンクもあります。

## 5-5-2 法令・判例

◇「日本法令索引」 国立国会図書館 <https://hourei.ndl.go.jp/>

法令の制定・改廃状況や、審議経過について調べられます。

◇「インターネット版官報」 国立印刷局 <https://kanpou.npb.go.jp/>

当日までの30日間の官報を無料で公開しています。

## ◇「官報情報検索サービス」 サービスデスク

官報は、法律、条約、府省令などの法令や、公告などを掲載する国の機関紙で昭和22年5月3日以降、当日発行分（当日分は午前8時30分以降に公開）までの官報を見ることができます。日付と記事の内容から検索できます。館内で利用できます。利用にはパスワード等が必要ですので、サービスデスクでお尋ねください。

## 5-6 統計を探す

レポートや論文を作成するとき、「統計」の数値を論拠として活用することがあります。

統計は官公庁や民間の各種団体が行うもので、多くの機関からさまざまな種類のものが発行されていますが、インターネットで公開されているものも多くあります。本学で所蔵している統計は OPAC で調べることができます。

◇「政府統計の総合窓口（e-Stat）」 統計センター <https://www.e-stat.go.jp/>

各省庁の統計データをキーワード・分野・機関名から探すことができます。データを Excel・CSV・PDF などのファイル形式でダウンロードできます。

◇「総務省統計局」 <https://www.stat.go.jp/>

国勢調査をはじめとする大規模な調査の統計が掲載されています。

## ◇◆「日本統計年鑑」「日本の統計」「世界の統計」 など

新しい統計：上記総務省統計局のサイトにあります。

それ以前の統計：【中央図書館：1階A参考図書】

自分が求めているものがどの統計に載っているのか、あるいはどんな統計があるのかを知りたいときには、次のような資料が役に立ちます。

◆「統計情報インデックス」 総務省統計局 2006  
【中央図書館：1階A参考図書 350.19||So39】

## 5-7 規格情報を探す

規格は、知識や技術・製品が標準的なものとして普及するように定められた取り決めで、用語・単位・寸法・品質などを規定しています。「標準」「基準」「規定」などの用語が使われるときもあります。

◇「日本産業標準調査会（JISC）」 <https://www.jisc.go.jp/>  
産業標準化全般に関する調査・審議を行っている機関です。JIS(日本産業規格)、TS(標準仕様書)/TR(標準報告書)の全文閲覧には、個人による利用者登録が必要です。

◇「日本規格協会（JSA）Webdesk」 <https://webdesk.jsa.or.jp/>  
JIS規格票を販売している機関です。主要な海外規格書の邦訳版の出版・販売もしています。JISのほかISOやIEC等の横断検索が可能です。

◆「日本工業規格(JIS)」「JIS総目録」 日本規格協会 【中央図書館：1階A参考図書】  
2015年までのJIS規格票を見ることができます。（廃止された規格票はありません）  
冊子体の目録もあり、廃止された規格も探すことができます。また、国際規格（ISO、IEC）との対応表などもあります。

## 5-8 教科書を探す

教科書（教科用図書）は、小学校・中学校・高校・特別支援学校等の学校で、中心的な教材として使用される児童・生徒用の図書です。

（1）当館の所蔵

中央図書館では現在、小・中学校の教科書すべてと高校の教科書の一部を収集しています。過去の教科書は年代によって整理方法が異なりますので注意が必要です。いずれもOPACで検索できます。

現行教科書--【1階教科書コーナー】  
昭和23年以降検定教科書、一部現行教科書の複本--【書庫1階N-教科書】  
上記以前の教科書--【書庫2階】図書として整理されている  
和装本--【保存書庫】

また、復刻版が出版されている場合もあります。

◆「日本教科書大系」、「復刻国定教科書」 中央図書館：書庫2階

## (2) 他の図書館の所蔵

教科書を収集している機関があります。中には電子化されている教科書もあります。

## ◇「公益財団法人教科書研究センター附属教科書図書館 所蔵資料検索ページ」

<https://textbook-rc.or.jp/search/>

教科書目録情報データベースのほか、公益財団法人教科書研究センター附属教科書図書館が所蔵している副読本や教材、外国の教科書などの検索が可能です。

◇「国立教育政策研究所 教育図書館」 <https://www.nier.go.jp/library/>◇「東京学芸大学E-TOPIA」 <https://library.u-gakugei.ac.jp/etopia/>

## ◇「広島大学図書館所蔵 教科書コレクション画像データベース」

<https://dc.lib.hiroshima-u.ac.jp/text/>

## 5-9 学術雑誌の評価指数を調査する

学術雑誌の評価指数の調査ツールとしては下記のものがあります。

## ◇「Journal Citation Reports(JCR)」 ※契約調整中のため、現在は利用できません。

<https://jcr.clarivate.com/>

※学内限定・学認対応

引用情報をもとに学術雑誌の評価・比較を行うための分析ツールです。特定の1年間において、ある特定雑誌に掲載された論文が平均的にどれくらい引用されているかを示す尺度であるImpact Factor (IF) が収録されています。なお、IFは雑誌を評価する指数であり、論文を評価するものではありません。また、分野により数値は大きく異なるため異分野の雑誌の比較はできません。

## 学術情報リポジトリって？



大学等の研究機関で生産される学術研究・教育成果を、電子ファイルで恒久的に蓄積・保存し、インターネット上でみられるようにするものです。別名を機関リポジトリとも言います。

秋田大学では「秋田大学学術情報リポジトリ(AIR)」から、秋田大学で生まれた学位論文や学術雑誌・学内紀要といった媒体に掲載された論文などの研究・教育成果を世界に発信しています！

AIRから公開された論文はGoogle Scholarなどの学術情報検索サイトからもリンクされます。

<https://air.repo.nii.ac.jp/>

